

6月

ほけんだより

R8. 6. 1

矢島中学校保健室

No. 4

梅雨時になってくると、湿度が高くてじめじめした日が増えてきます。急な気温の変動などで体調を崩していませんか？少し体を動かしただけで汗をかく時期になってきました。汗の始末がきちんとできるように着替えやタオル・ハンカチなど、いつも準備しておきましょう。水分補給も忘れずにこまめにしましょう。今月は健診が盛りだくさんです。日程等を確認して、しっかり準備してきましょう。

6月の保健行事

検査項目	月日		時間	対象学年	場所	事前の準備など
眼科健診	6/1	月	13:50頃~	全学年	保健室	前髪が邪魔にならないようにする。
内科健診	6/4	木	13:40~	全学年	保健室	体育着(半袖・短パン)を準備する。
血液検査	6/10	水	9:30頃~	2年(希望者)	保健室	体育着(半袖シャツ・下は長トレパン)を準備する。
尿検査二次	6/11	木	9:00頃まで	再検査者 未提出者	保健室	前日に尿検査セットを配布。 未使用のセットがある人はそちらを使用してもよい。
耳鼻科健診	6/11	木	13:30頃~	1・3年	保健室	耳掃除をしておく。

耳鼻科健診の受けかた。

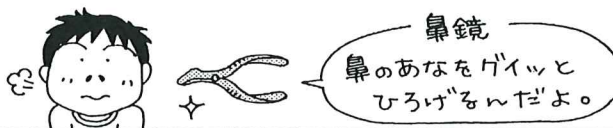
耳をみますのでかみの毛は耳にかからないように。



横をむいてすわり、耳をみてもらいます。先生は、耳鏡じきょうという道具で耳のおくをのぞきます。



前をむいてすわったら、鼻の中をみてもらいます。先生は鼻鏡という道具を使います。



口を大きくあけてのどをみてもらいます。先生は舌圧子という道具を使って舌(べろ)をおさえます。



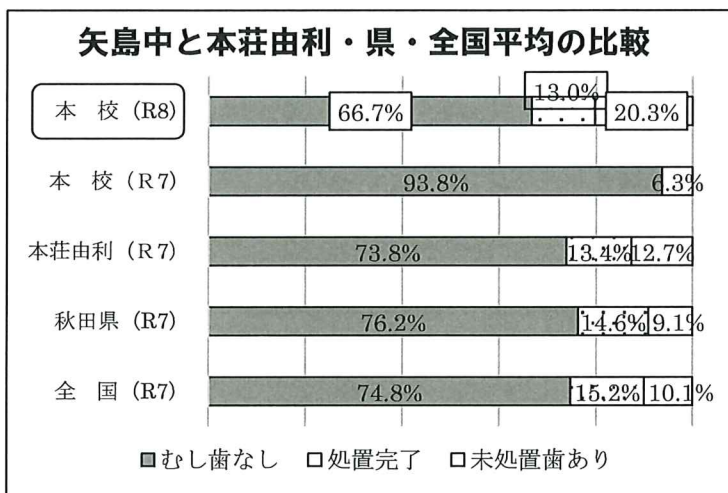
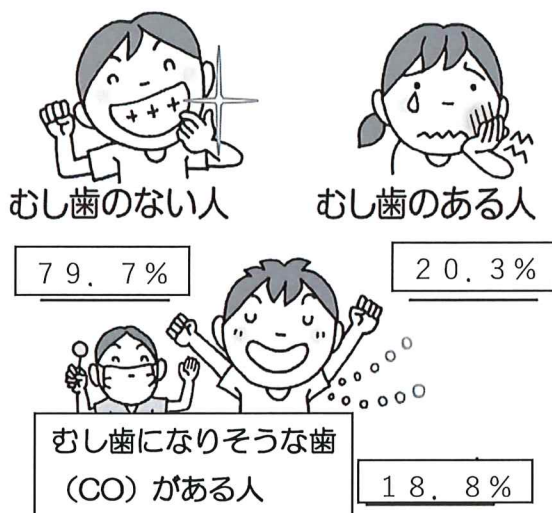
検査の前日には、耳・鼻のそうじをきれいにしておきましょう

一生使う歯を大切に・・・



先週、歯科健診を行いました。学校医の甫仮先生からは、「結果はおおむね良好ですが、一部磨き残しの多い生徒がいた」との指導を受けました。昨年度の結果と比べると、「むし歯あり」の割合が増えており、県・全国平均よりもむし歯が多い結果となっています。学校医さんが変わったことも影響していますが、しっかりと診てもらったことで、治療したり、定期健診や日々の歯みがきなどでこまめにケアをして、自分の歯を大切にしてお過ごしきっかけになればいいなと思います。「食べたらみがく！」を合言葉に、食後はしっかりみがきましょう。

★矢島中の歯の様子



保護者の方へ

- *健康診断の結果、受診が必要なお子さんには健診終了後に「受診のおすすめ」をお渡ししています。すでに受診済みの場合は、おうちの方が受診した旨を記入していただいて構いませんので、学校へ提出してくださいようお願いします。
- *歯科健診については、受診した全員に結果を本日お知らせしています。「歯と口の健康カルテ」も同封しているので、ぜひお子様と一緒にご覧ください。
- *今月から本格的に健康診断が始まります。別紙で「学校の健康診断の目的と方法について」を配布しておりますのでご確認くださいませよう願いたします。

学校の健康診断の目的と方法について

1. 学校で健康診断を行う目的について

- (1) ご家庭における健康観察を踏まえて、疾病をスクリーニングし、健康状態を把握します。
- (2) 学校における健康課題を明らかにして、健康教育に役立てます。

2. 児童生徒等の健康診断における検査項目について

① 身長及び体重	⑥ 耳鼻咽喉頭疾患及び皮膚疾患の有無
② 栄養状態	⑦ 歯及び口腔の疾病及び異常の有無
③ 脊柱及び胸郭の疾病及び異常の有無並びに四肢の状態	⑧ 結核の有無
	⑨ 心臓の疾病及び異常の有無
④ 視力及び聴力	⑩ 尿
⑤ 眼の疾病及び異常の有無	⑪ その他の疾病及び異常の有無

※健康診断の結果はご家庭に通知し、疾病または異常の疑いが認められる場合は、医療機関への受診を勧めます。

3. 検査・診察時における対応について

検査・診察に当たっては、児童生徒等のプライバシーや心情に配慮した対応を行います。

- (1) 男女別に検査・診察を行います。
- (2) 検査・診察時には、児童生徒等の身体が周囲から見えないよう、パーテーションやカーテン等で囲い、個別の検査・診察スペースを用意し、待機時には体操服やタオル等で身体を隠せるようにするなどの工夫を行います。
- (3) 検査・診察時の服装については、正確な検査・診察に支障のない範囲で、原則、体操服や下着等の着衣、又はタオル等により身体を覆い、児童生徒等のプライバシーや心情に配慮します。
- (4) 検査・診察の場面においては、正確な検査・診察のため、必要に応じて、医師が、脱衣を促したり、体操服・下着やタオル等をめくって視触診したり、体操服・下着やタオル等の下から聴診器を入れたりする場合があります。

【より注意深い診察が必要な場合の対応】

- ① 側弯症や胸骨の陥没（漏斗胸）・突出（はと胸）などの骨格の異常を確認する際、正確な判断を行うために、必要に応じて、医師が、脱衣を促したり、視診したり、背中や腰、前胸部を触診したりする場合があります。
- ② アトピー性皮膚炎、伝染性膿痂疹（とびひ）、伝染性軟属腫（みずいぼ）、外傷の有無を確認する場合は、皮膚の状態を視診し、必要に応じて触診する場合があります。
- ③ 心臓の雑音や脈の乱れなど、体操服や下着の上からでは心臓の音が聞こえにくいいため、衣服やタオルをめくったり、衣服の下から聴診器を入れて聴診する場合があります。

学校医と学校関係者は、お子さんのプライバシーを守り、精度の高い健康診断になるよう努めますので、保護者の皆様は、健康診断の目的をご理解の上、お子さんとお話をなさってください。お子さんに特別な配慮を必要とされる場合は、あらかじめ担任に連絡をお願いします。